

しゅつげん

イノシシ出現

10月21日、全校生でパンジー植えを終えようとしていたとき、プールの東側にイノシシが2頭現れました。すぐに子どもたちは避難しました。

今年はいのしし年、いったいイノシシとはどんな動物なのでしょう。まず、イノシシはブタに似ています。それもそのはず、ブタはイノシシを改良してつくられたのです。一方で、イノシシには長いきばやたてがみがあります。子どもにはしまもようがあり、「うりぼう」と呼ばれています。警戒心が強くかきこい動物です。自分から人間を攻撃することはまずありませんが、突然出会ったときや子連れの際は大変危険です。夜活動するイメージがありますが、人家の少ない所では日中も活動しているようです。

鹿沼市では、2000年を過ぎてから急に数を増やし、西部、北部を中心とする平地から山地までの森林などに多く見られるようになりました。農作物にもひ害を与えています。また市街地まで姿を現すこともあります。子どもを毎年一度に4、5頭も産むので、どんどん増えること、おもに植物食ですが、ミミズやカエルも食べる雑食性であることなどから増えたようですが、温暖化の影響もあるようです。あの2頭は、台風19号の影響で住みかやえさ場を失ってやってきたのかもしれませんが。

